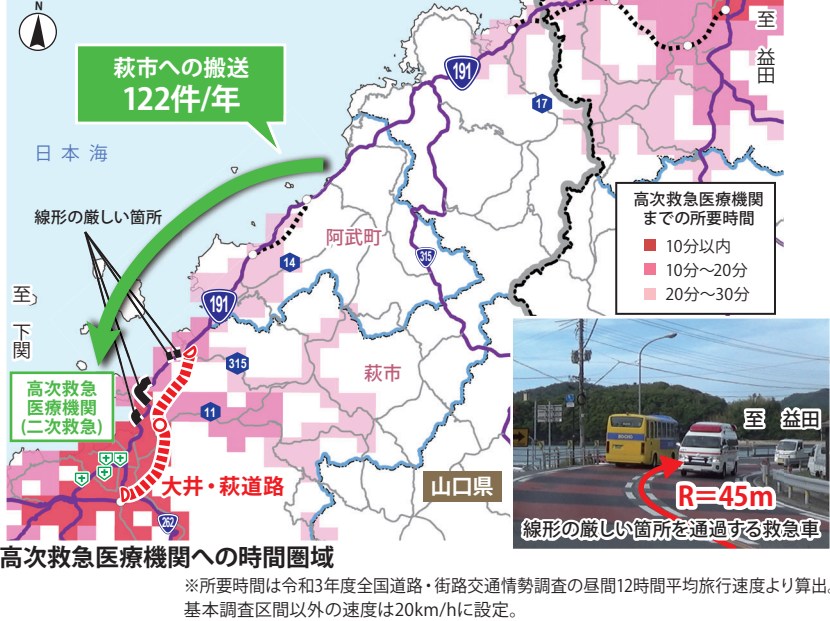


整備効果2

高次救急医療機関へのアクセス性向上、緊急医療活動を支援

山口県阿武町には高次救急医療機関がなく、重篤患者の救急搬送は萩市街の二次救急医療機関に依存しています。現在は課題の多い不安定な搬送ルートを利用せざるを得ない状況であり、線形の厳しい箇所等の緊急車両の走行時には、患者への負担が懸念されています。

大井・萩道路の整備により、高次救急医療機関への搬送がより確実なものとなり、所要時間が短縮することで、地域住民の生活において安心感が向上します。また、当該道路を走行することで安全性が高く、より患者に負担が少ない搬送が期待されます。



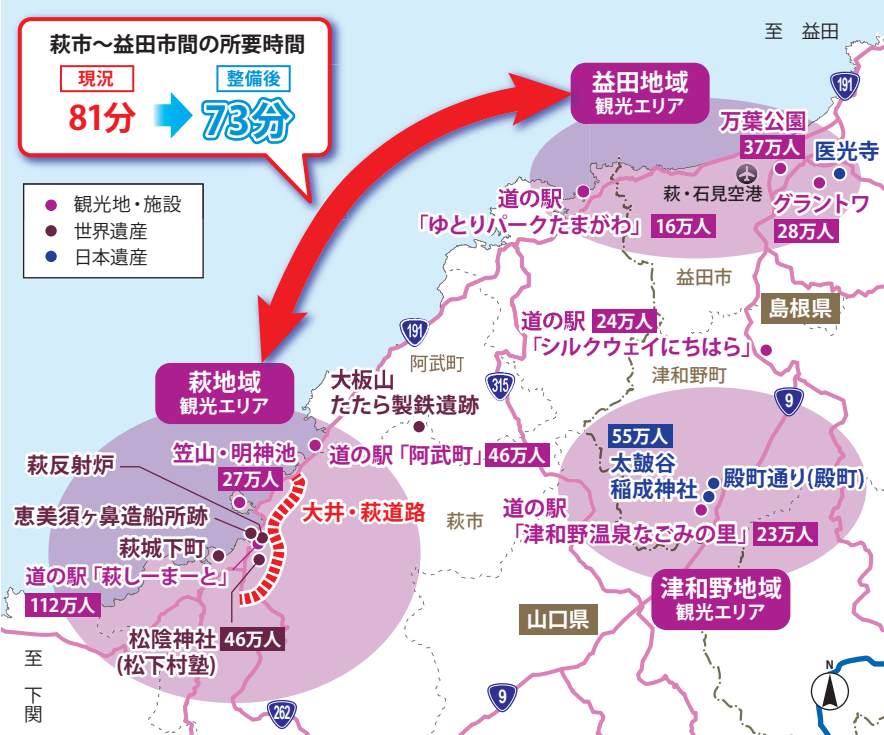
整備効果3

広域道路ネットワークを形成、広域周遊観光を拡大

山口県と島根県は、萩地域、益田地域、津和野地域の観光エリア相互の連携による広域周遊観光の促進に取り組んでいます。観光客の周遊範囲は限定的であり、道路ネットワークの強化による地域間の結びつきの強化が必要となっています。

大井・萩道路の開通により、観光客の移動時間が短縮するとともに、より選択肢をもった周遊観光の実現が期待されます。

萩・益田・津和野地域の主要観光地・施設と観光客数



※図中の数字は観光客数(万人)、10万人以上を掲載 資料：H30山口県の宿泊者及び観光客の動向、H30島根県観光動態調査
※所要時間は令和3年度全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度を基に萩市役所～益田市役所の区間で算出。
整備後は大井・萩道路、木と防災、益田・田万川道路、益田西道路利用ルート(80km/h)

令和6年3月 作成





測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 2CG f 17 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

一般国道191号 大井・萩道路の概要

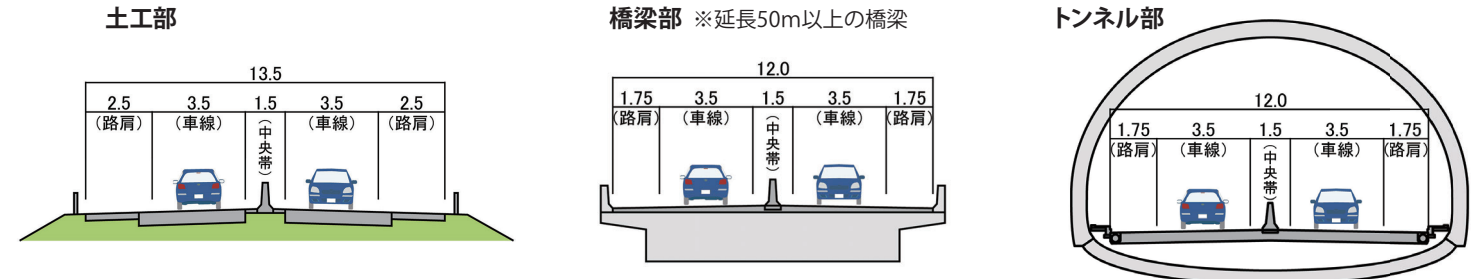
山陰道の一部を形成する大井・萩道路は、山口県萩市椿～萩市大井を結ぶ延長11.1kmの高規格道路です。

並行する一般国道191号は急峻な山地と海岸に挟まれ、越波による通行規制や法面崩落の危険性があり、これら規制や災害の発生時には代替路がないため大幅な迂回を強いられることになります。

大井・萩道路は、開通済みの萩・三隅道路と連携して、災害時等の代替路や、広域的な観光周遊、救急医療活動の支援、地域の安全・安心の確保等を目的としており、広域交流の促進や地域活性化に寄与することが期待されます。

標準断面図

単位：m



諸元

延長	11.1km
起点	山口県萩市椿
終点	山口県萩市大井
道路区分	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	完成2車線
都市計画決定	令和3年2月
事業化年度	令和3年度

整備効果1 信頼性の高い道路ネットワークの確保

現道の一般国道191号には越波区間や平面線形の厳しい箇所があり、過去10年間（平成22年～令和元年）に越波や飛び石、落石による通行規制が5回（総通行規制時間 約73時間）発生しています。また、交通事故による全面通行止めも発生しており、同じく過去10年間に11回（総通行止め時間約3時間）発生しています。これらが発生した場合、現在は一般国道315号等を通行する大幅な迂回が必要となっています。

大井・萩道路の整備により、災害時の交通障害や道路寸断による大幅な迂回走行を解消し、よりスムーズで安全・安心な交通の確保が期待されます。



国道191号の越波状況



国道191号の事故発生状況



※令和3年度道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度を基に萩市役所～阿武町役場の区間で算出。